

1年生 農業体験



1年生は10月1日(火)、2日(水)に農業体験学習を行いました。体験に行く前には、宮崎修太さん(西網道)から農業にかける熱い思いをお話いただき、宮崎さんの生き方を学ばせていただきました。

2日間の体験では、みかんの収穫、花の植え、お米の袋詰めなど貴重な経験ができ、氷川町の農業のこれからを考えた充実した2日間になりました。

感想

「知らないことを知る」

1年1組 平田 悠輝

初めてレモン畑に行ったとき、まさかレモンの木にトゲがあるとは知らず、トゲがささってしまいました。レモン畑の高いところからお世話になった松岡さんを探してもレモンの木の葉ばかりで姿が見えなかったのも驚きました。トゲがささらないように気をつけて下をくぐって行きました。レモンの収穫をして食べてみると、店で売ってある黄色のレモンと違ってあまり酸っぱくありませんでした。知らなかったことをたくさん知ることができました。

「農業体験で学んだこと」

1年1組 稲本 美聖

農業体験で学んだことは、農業の大変さとこれから必要になってくる力です。今回、私たちが体験させてもらった農家さんでは、トマトを作られていて、メカキなどの作業では、集中力、持久力、丁寧さ、作業の効率の良さなどが必要でした。でも、失敗することがあったり、やり忘れがあったりしたので、自分はまだまだだなあと思いました。農家さんの大変さが少しわかった気がしました。でも、農家さんとお話しする中で、楽しくてまだまだやりたかったです。私は、今回の農業体験で学んだ集中力、持久力、丁寧さ、作業の効率の良さなどをこれからほかの活動にも生かしていきたいと思います。また、同じような経験をするのがあったら、積極的に取り組んでいきたいと思っています。



2年生 職場体験

感想

「職場体験を通して」

2年1組 竹中 美月

1日目は、最初に「働くことの意味」について話を聞きました。私は、「働くこと」は自分の生活のためと思っていましたが、話を聞いていくうちに、働くことは他の人のためになることだ

と気付かされました。染色加工の仕事は、その仕事があることで人を元気づけたり、何かの力になるのだと思います。短い時間に多くのことを学ぶことが出来ました。

この2日間を通して、職人の仕事に対する思いや大変さを知ることが出来ました。また、「全てはお客様のために」という言葉が実感できる職場体験でした。



3年生 三神宮秋季例祭

感想

「三神宮秋季例祭に参加して」

3年1組 佐々木 祐太

僕は今まで9年間この祭りに参加してきて、改めてこの祭りの重要さや地域の方々の優しさを感ずることができました。今年の祭りでは3年生全員でポニーを引いて、参加しました。初めての練習の時は慣れることができず、馬から離れていました。2回目の練習からは、段々と慣れていき本番を迎えることができました。祭り当日は、早朝から始まり、境内を走ったり、家を一軒一軒回ったりして、とてもきつかったけれどそれ以上に楽しさがありました。来年からは参加する機会が減るかもしれませんが、40歳になった時にはまた皆が集まってこの祭りに参加したいと思っています。

